

【令和6年度 第6号】

R7.3.10 発行

全日制 開陽 だより



全開！

鹿児島県立開陽高等学校全日制課程発行
〒891-0198 鹿児島市西谷山1丁目2番1号
TEL (099)263-3710 / FAX (099)260-8233



R6 夢・実現！

R6頑張った卒業生

1月18日、19日に大学入学共通テストが実施されました。近年、「年内入試」とも呼ばれる総合型、推薦入試が大学・短大・専門学校を問わず増加傾向にあります。周囲が進路を決定していく中で、今年は6名の生徒が鹿児島国際大学で受験しました。「共通テストの成績」+「面接や書類選考」で可否を判断する鹿児島大学の推薦入試Ⅱや、共通テストの成績のみで可否を判断する私立大学に挑戦する生徒もいれば、私立大学の一般入試や、2月25日に実施された国公立大学の二次試験に挑む生徒もいました。

県外私立大学では、西南学院大学、近畿大学、高野山大学、九州産業大学等に合格者が出ており、国公立大学では、鹿児島大学に3名合格者が出ております。

令和6年度進路状況3／8（人数は延べ）

4年制大学（国公立）	3人
4年制大学（私立）	17人
短期大学（国公立）	1人
短期大学（私立）	4人
専門学校・各種学校等	27人
就職（正社員によるもの）	28人

1月・2月は進路に関する行事が続きました。1月21日は「総合的な探究の時間」で職業理解ガイダンス、1月30日にはLHRで卒業生5名を迎えて社会人（卒業生）講演会、さらに2月6日には卒業年次生8名の話を進学と就職に分かれて聞く進路報告会を実施しました。

職業理解ガイダンスでは、各大学や専門学校から講師を招いて、それぞれ興味、関心のある職業について説明を聞きました。講演会では、大学・短大・短大卒業後、社会人として働いている卒業生の現在の生活や、高校時代にどのように学習へ取り組んでいたかの体験談を、真剣に時に笑いを交えながらしっかりと話してくれました。報告会では卒業年次生（3年生）が実際の面接や試験での注意点やそれぞれが努力した内容を、生き生きと語ってくれました。生徒たちの感想からは、「先輩たちの悩みを自分と重ねることができた、頑張りたい」等、前向きな意見が目立ちました。よい刺激になったようです。一緒に進路を実現していきましょう！



夢への旅立ち！



3月3日月曜日、後期卒業式が行われました。思い思いの晴れ着に身を包み、卒業証書を受け取った第22期生 77名は、校長先生の式辞、

教育委員会の告辞、PTA会長の祝辞、そして在校生代表の尾辻愛楽（おつじあいらく）さんの送辞を胸に、参列者の拍手に見送られ、開陽高校を巣立っていきました。

卒業生代表の佐野正曙（さのまさあき）さんの言葉です。

私たちはそれぞれの思いを胸に、ここ開陽高校で、自分らしく、かけがえのない日々を過ごしてきました。最後の体育祭。大雨の中、卒業年次生は優勝を掴み、雨に濡れた手を振り



払うように、それまでの健闘を讃えるように力一杯、万歳をしました。閉会式が終わると同時に雨は上がり、青春の光を一気に浴びた、あの時の清々しい気持ちは今も鮮明に心に刻まれています。

先生方へ。今、私たちが自信をもつことができているのも、上手いかないもどかしさに悩み、葛藤しながら過ごす中、先生方が親身になって支えてくださったおかげです。

家族へ。家族の愛は、計り知れないものでした。「本当にありがとう。これからも応援してね。」

在校生の皆さんへ。青春と一瞬はセットです。つまらなくちゃいけないと思う日々かもしれませんが、それがかけがえのないものだったと気づく時が来ます。今この瞬間を大切にしてください。そして、色々なことに挑戦してほしいです。

ここ開陽は、何気ない日常を最高の思い出に変えてしまうほど、魅力的な場所でした。悩んで苦しい日々も、笑い合った記憶が、友が、私たちを支えてくれると信じ、それぞれの夢に向かって歩いていきましょう。「あなたの行く先が、またこのような場所になりますように。」

🌸🌸🌸🌸🌸 受賞おめでとう 🌸🌸🌸🌸🌸

*第55回鹿児島県高等学校書道展において、山口実桜さん（312HR）が秀作賞を受賞しました。

